

ブラジルからのスポーツ指導者

11月12日に長良川メドウで行われた高校サッカー県大会での帝京可児高校×岐阜工業高校の決勝戦で0×0のまま延長を終え、PK戦まで持ち込まれた試合はまだ記憶に新しいところです。その岐阜工業高校サッカー部で指導しているトレセンスタッフがいます。外国人スポーツ指導者のセルジオ・ゴベッチです。

学生時代は体育大学に入学し、国際監督のあり方や技術指導、マネジメントについて学び、それを生かして現在まで監督・指導者として活躍してきました。



岐阜工業高校サッカー部 森先生

水曜日はキーパー練習会、土・日曜日は試合、その他は毎日、Aチームを中心に教えてもらっています。技術や戦術、技などについて細かい所まで指導してもらえるので、教えてもらう側としても分かりやすいです。さすがプロの指導者だなと感じます。



岐阜工業高校サッカー部

1948年に創設される。部員数現在66名。毎年度のように優勝を重ね、今年度もインターハイ県予選、新人戦ともに優勝を獲得している。平成15年にはインターハイ・選手権大会で全国ベスト8入りを果たした名門チーム。



"パルメイラス"チームはここにあります。



来日前は、サンパウロを本拠地とするサッカーチーム“パルメイラス”でU-17, U-20の監督として活躍していました。パルメイラスは1914年に設立され、数多くの優勝経験をもつ名門クラブチームで、かつてはあの三浦知良選手も在籍していました。



岐阜工業高校以外にも、FC岐阜や岐阜・西濃地区トレセンなどでもキーパーの指導をしています。



3年前に来日しました。今では日本語で指導をしています。



自分自身もキーパーの選手としてクラブチームで活躍していました。

それぞれがポジションにおいて自分がやるべきことをしっかり確認することが大切だと思います。特にキーパーはすべてを見渡すことができ、キーパーによって試合の60%を左右しますので試合中においては自分が監督だと思って取り組んでほしいです。

